

# 不良流出・顧客クレームにつながる「ポカミス」が減らない本当の理由

10,000件超の事例から導き出された20の要因、6つの考え方と20の対策でモグラたたきからのポカミス対策からの脱却。「ポカミスゼロ」化への具体的なアプローチ

**日時** 2020年8月25日(火) 10:00~17:00 (9:30 受付開始、休憩 12:30~13:30)

**会場** 日刊工業新聞社 東京本社 セミナールーム 東京都中央区日本橋小網町 14-1 (住生日本橋小網町ビル)

**受講料** 44,000円 (資料含む、消費税込) \*同時複数人数のお申し込みは2人目から39,600円  
\*追加申込の際は備考欄に「複数割引適用希望」とご記載ください。  
(記載が無い場合は通常料金のご請求となる場合がございます。予めご了承ください)

## 日刊工業新聞社セミナー会場案内図



【アクセス】東京メトロ 日比谷線 人形町駅(A2) 出口より徒歩3分  
東京メトロ 半蔵門線 水天宮前駅(8番) 出口より徒歩4分  
都営浅草線 人形町駅(A6) 出口より徒歩3分

\*会場には受講者用の駐車場がありません。必ず最寄りの公共交通機関でこ来場ください。

## セミナー申込を検討中の皆さまへ

新型コロナウイルス感染症に伴うセミナー開催及び対応について、弊社WEBサイトにご確認ください。

<https://corp.nikkan.co.jp/seminars/view/3693>

## 受講にあたり

開催決定後、受講票並び請求書をご郵送いたします。

申込者が最少催行人数に達していない講座の場合、開催を見送りとさせていただきます。ご了承ください。(担当者より一週間前を目途にご連絡致します。)

## お申し込み方法

ホームページ (<https://corp.nikkan.co.jp/seminars/search>) または、下記申込書をご記入のうえFAXにてお申し込みください。

## 受講料

セミナー開催日1週間前までに銀行振込にてお支払いください。

振込手数料は貴社でご負担願います。

## キャンセルポリシー

開催日1週間前までの受付とさせていただきます。1週間前までにご連絡がない場合はご欠席の方もキャンセル料として受講料全額を頂きます。

**申込・問合せ** 日刊工業新聞社 総合事業局 セミナー事業部  
TEL 03 (5644) 7222 FAX 03 (5644) 7215

<b>受講申込書</b>	<b>8/25 ポカミスゼロ</b>		お申し込み先	日刊工業 セミナー	🔍
			<a href="https://corp.nikkan.co.jp/seminars/search">https://corp.nikkan.co.jp/seminars/search</a>		
会社名	フリガナ		業種		
氏名	フリガナ	部署・役職	TEL		
			FAX		
所在地	〒		E-mail	※今後、E-mailによるご案内を希望しない方は <input type="checkbox"/> チェックをしてください。	
備考					

### 個人情報の取り扱いについて

ご登録いただいた情報は日刊工業新聞社が細心の注意を払い、展示会・セミナー・サービス等、各種ご案内を送らせていただくことを目的に利用させていただきます。なお、宛先変更・配信停止をご希望の際は右記までご連絡ください。【ご連絡先】日刊工業サービスセンター 情報事業部 nkmail01@nikkansc.co.jp

# 開催主旨

多くの生産現場では、毎日の品質管理活動にもかかわらず、【不良流出・顧客クレーム】が減らずに依然として困っています。

そして、現場で発生する品質問題は高度な技術理論や手法が必要となるケースは稀で、ちょっとしたポカミス・モレなどに起因することが圧倒的大多数です。

なぜ、「品質管理活動を推進」しても、こうした「ポカミスが無くならない」のか？

その理由は従来型の品質管理活動では「ポカミスの発生要因が「見えず」、対策がモグラたたきになっているから」です。つまり、【発生要因をきちんと特定し、対策を打てば】ポカミスをゼロにすることができます。

本セミナーでは、講師が実際のコンサルティングで解決した1万超の事例を分析、不良発生や顧客クレームにつながるポカミスの要因を20に定義し、発生メカニズムを解明し、20の対策を立案しました。

具体的に現場で使える対策として、従来のIE改善をベースに

「知らないことを教える」、「現場の鉄則を教える」、「OJTに代わる今の時代にふさわしい教育・訓練のしくみを構築する」、「モラルマネジメントによりメンタルケアする」、「疲れにくくストレスがかかりにくい環境・管理を実現する」、「頭脳労働にはAIを使う」という6つの新しい考え方を加えることにより、ポカミスゼロ化ツールとして確立することができました。

本セミナーにより、モグラたたきのポカミス対策から脱却し、ぜひ、ポカミスゼロの理想現場を実現して下さい。



進呈！（講師著書）

## 講師

株式会社ロンド・アプリウェアサービス **中崎 勝氏**

**【略歴】** 1981年、ブリヂストンに入社。設備設計と保全業務に従事。1987年に日本DECに移籍し、システム及びAIの開発に従事。1992年、ロンド・アプリウェアサービスを設立。製造業を中心としたコンサルティングで多くの成果を上げる。不良ゼロを可能にする実践アプローチにもとづく指導方法に定評があり、国内メーカーに加え、海外メーカーなどでも大きな改善効果を上げている。また、ものづくりに特化したIoT/AIセミナーも数多く実施しており、改善とIoT/AIを融合したこれからの時代の新手法を提案している。

## プログラム

### 1. ポカミスゼロへのアプローチ

- 1-1 基本的な考え方
  - ・ポカミスの特徴となくなる理由
  - ・ポカミス・20の要因
  - ・6つの新しい考え方による20の対策
- 1-2 潜在化対策
  - ・NG/OKシートで80%のミスがなくなる
  - ・ミスゼロのための現場の4つの鉄則
- 1-3 ルールを守らせるための対策
  - ・OJTから新たな教育・訓練のしくみへ
- 1-4 うっかり対策
  - ・自主休憩、体調・都合管理、環境改善
- 1-5 限界作業改善
  - ・AIによる検査・判断・入力ミス対策
- 1-6 ポカミスゼロへのアプローチ
  - ・ポカミスが出た時のインタビューの仕方
- 1-7 ポカミスゼロで理想職場の実現

### 2. 実践2Sへのアプローチ

- 2-1 2Sでポカミスの遠因を対策する
- 2-2 更地化：短時間効果的实践法
- 2-3 変化に対応できるしくみづくり

### 3. 標準整備へのアプローチ

- 3-1 標準の実態
- 3-2 標準を改善する
- 3-3 標準整備の7ステップ

### 4. ビデオ標準作成へのアプローチ

- 4-1 教育・訓練の実態
  - 新たな教育・訓練のしくみづくり
- 4-2 ビデオ標準で標準遵守、多能工化、技能伝承をスピーディーかつ確実に
- 4-3 ビデオ標準作成の7つのポイント
- 4-4 ビデオ標準教育・訓練運用ポイント

### 5. モラルアップへのアプローチ

- 5-1 モラルとは
  - 実態：日本人は低いという事実
- 5-2 モラルアップ8つの施策
- 5-3 尊敬される上司になる
- 5-4 人は環境の生き物